

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 奈良市立平城西中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育パイロット校  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒631-0804  
奈良市神功2丁目1番地

E-mail : heijounishi-j@naracity.ed.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 173 名 女子 165 名 合計 338 名  
 児童・生徒の年齢 12 歳 ~ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

## 地域貢献・奉仕プロジェクト・ESD 世界遺産学習

### 【取組概要】

昭和47年、平城ニュータウンの開発とともに誕生した平城西中学校は、文化・スポーツ・福祉等様々な団体により協力と支援をいただいていた。特に、地域学校支援ボランティア組織が充実しており、環境・図書・スポーツ・文化・安全等に関して様々な援助をいただいている。

平成20年度、奈良市小中一貫教育推進のためのパイロット校に選定されて以来、保幼小連携・小中一貫教育の研究開発に努めている。奈良市小中一貫校では、総合的な学習の時間を新設3教科（英会話科・郷土「なら」科・情報科）にあて、小中連携により「生きる力」の育成に努めている。9年間の長いスパンで、子どもたちがこれからの社会で求められる力、知識・技能の活用力、情報発信力、英語によるコミュニケーション力、郷土への愛着と誇り等の育成を目指して、国際文化観光都市奈良の将来を担う人材育成を目指している。

そのため、郷土「なら」科で学んだ豊かな体験活動をまとめる力、ICT機器を活用して報告・発表する力、英語により世界に発信しアクションを起こす力を培う取組を展開している。平成22年7月9日にユネスコスクールとして認可を受け、これまで次のような取組を行ってきた。

- ①生徒会中心による地域住民・保護者合同の中学校区環境整美奉仕活動
- ②災害地への義援金およびユニセフ募金活動
- ③世界遺産学習および郷土学習
- ④ホームページおよびビデオレター等による海外への発信活動
- ⑤地域とともに行う防災学習

### 【平成25年度活動計画】

(1) 郷土「なら」の授業において、世界遺産学習を各学年で展開する。

奈良市の小中一貫校において、英会話科・情報科・郷土「なら」科の新設3教科を実施している。郷土「なら」科においては、小学校1年生より9年間のカリキュラムが立てられ、奈良の世界遺産学習や地域遺産学習をすすめ、奈良で学んだことを誇らしげに語れる子を目指し取り組みを進めている。

1年：奈良市の世界遺産についての学習

校外学習（奈良公園）でのフィールドワーク

まとめと発表（パワーポイント・ホームページ等）

2年：京都の世界遺産について

校外学習（京都東山方面）でのフィールドワーク

小6中2合同郷土史学習

まとめと発表（パワーポイント・ホームページ等）

3年：奈良市の文化財についての学習

文化財等の講演会 大学との連携活動

沖縄修学旅行における平和学習

3年間のまとめ学習

(2) 奈良を体験し奈良を伝える

・奈良の寺社仏閣、文化財施設、墨・筆等の伝統産業の支援を受けて職場体験を実施

・姉妹都市小浜での宿泊体験学習において奈良の伝統について伝える。

小浜市立内外海小学校（ユネスコスクール）との交流

・修学旅行等において民泊を行い、奈良で学んだ事を伝える。

・学習成果および学校紹介をビデオレター等により海外発信を行う。

(3) 地域に愛着と誇りを育み防災に取り組む

- ・地域防災学習を行う。
- ・吹奏楽部による地域行事での演奏

## 【活動目標】

昭和 47 年、平城宮跡の北に位置する山の開発により平城ニュータウンが生まれ、あわせて本校が創立した。世界遺産の古都奈良にありながら、利便性を求める新興住宅地としての特徴か、古き良きものに対する愛着や郷土意識が希薄である。

便利・スピード・効率を求めがちな現代社会にあって、郷土奈良は特異な存在であり 1300 余年もの間、数多くの世界遺産をはじめ史跡・文化財だけでなく東大寺二月堂修二会などの伝統行事が奈良のいたるところで温存されている。これまで大切に受け継がれてきた奈良の良さを、これからも大切に守り伝える心を育てるために、奈良市における開発と保全に関して深く学び、郷土奈良に対する愛着と誇りを育む活動に努めたいと考えている。

## 【地域貢献活動】

### 『地域一斉清掃』

生徒会・環境整美委員会が中心となり、地域学校支援ボランティアの協力により、校内・校区内美化活動を行っている。校区を自治会の方・地域ボランティアの方と共に落ち葉清掃などの奉仕活動に取り組んだ。そこでは、日頃お世話になっている地域の方々から生徒たちは溝掃除の仕方などいろいろなことを学びながら清々しい汗をかき交流を深める様子が垣間見られ、地域の絆が深められた。また、校内の花壇の整備作業も生徒と地域のボランティアの活動により年 2 回土作りから花植えの奉仕作業を行っている。「とりどりの花」を咲かすために、花壇のデザインなどは生徒主体にすすめられている。

### 『防災セミナー』

夏休みに地域の消防署の協力により「防災セミナー」の開催したところ生徒約 100 名と地域の方・ボランティアの方約 40 名の参加があった。内容は①防災講演②防災クイズ③防災体験（AED、三角巾、簡易担架、水消火器体験）④防災食体験を行った。災害時には中学生がその救済活動の大きな柱になるべく意識を高めるため取組をすすめた。

## 【募金活動】

Let's do what we can do!（私たちにできることをしよう！）と、生徒会が中心となり様々な募金活動を行っている。毎年文化発表会では、生徒会はプレゼンテーションで「ユニセフの活動」を紹介し命の危機に見舞われている厳しい現状にある子どもたちが世界各地にいること、また、「東日本大震災」による被害や被災者の生活の様子を訴えている。この状況の中で私たち一人ひとりが地球ファミリーの一員として、今大切なこととは一体何なのかを考え、何かできることはないかと自分に問いかけ、アクションをおこし、身近なところからの実践活動を展開している。

## 【ESD 世界遺産学習】

### 1 年生の取組

- ①奈良市教育委員会作成「奈良大好き世界遺産学習」を教材として、奈良市の文化財等についての学習を行っている。
- ②福井県小浜市（姉妹都市）での宿泊体験を行い、小浜市立内外海小学校（ユネスコスクール）と交流し、民宿の方とも交流し小浜のことを知るとともに奈良の伝統行事などの紹介を行っている。また、事後、情報科においてまとめ、班別でプレゼンテーションで発表会を行い、相互に評価し合っている。

※毎年行われる「お水取り」は、小浜から送られた水で行われるとのことから奈良市と姉妹都市となっている。

- ③班別で立案した奈良公園・ならまちでのフィールドワークを行い、世界遺産や重要文化財に触れ、調べ学習に取り組んでいる。その中では、観光に訪れた外国人にインタビューを行いアンケートで奈良に対する意識調査に取り組み、英会話教育の実践も積んでいる。また、事後各個人で新聞の作成に取り組み学習の成果をまとめ、文化発表会で展示

している。

## 2年生の取組

- ①「奈良大好き世界遺産学習」を教材として、京都市の世界遺産について学習し、奈良市との比較研究に努めている。
- ②班別で立案した京都東山でのフィールドワークを行い、銀閣寺や平安神宮を訪れ、外国人旅行者にインタビューを行い、京都や奈良についてのアンケート調査を実施し、英会話教育の実践を積んでいる。また、事後各個人で新聞の作成に取り組み学習の成果をまとめ、文化発表会で展示している。
- ③職場体験学習では奈良の伝統産業・神社仏閣にも体験を行い、伝統産業に対する認識を深め、守り伝えていく意識を育てる。事前に、マナー講習会を行い、情報科で自分の名刺づくりを行うなどの取り組みを行い、事後には、職場体験で学んだことについてまとめ、体験記を作成している。各事業所にも配布させてもらっている。
- ④郷土を学ぶために地域遺産学習を進め、我が町の成り立ちについて学ぶ。その成果を、小学6年生と中学2年生で合同の地域遺産学習を行い、意見を交わし合い、これからの街づくりについて考え合う取り組みを進めた。

## 3年生の取組

- ①沖縄修学旅行を行い、戦跡を自分の目で確かめ、平和講演では実体験を聞き、反戦・平和について深く考えた。また、奈良とは違った気候風土に触れ、民泊先で地元の方に奈良の紹介を行うなど交流を深めた。事後、情報科で紀行文を作成し発表会を行う、また、一部を英作し文化発表会で展示している。
- ②地域遺産学習を奈良大学において奈良大学の教授より「平城ニュータウンの歴史」について講義を受ける。
- ③3年間の中学校生活のまとめを郷土「なら」科・情報科で行いデータ化を進める。その中ではこれからの自分について思いを巡らせ、社会の中で自分の果たすべき役割についても考える。

## 【生徒会活動】

### ①サマーキャンプ

奈良 ASP ネットワーク ESD 子どもキャンプに生徒会役員 3 名と引率教師 2 名が参加する。

### ②ボランティア活動

・環境整美委員会が中心となり、年 2 回花壇の整備作業を地域ボランティアの方とともに行う。

・自治会主催の地域一斉清掃に清掃分担計画などを生徒会が中心となり運営を行う。生徒約 80 名、地域の方約 100 名の参加があり、日ごろの感謝の気持ちを込め、地域の方と汗を流した。

## 【活動の成果と課題】

ユネスコスクールの取り組みは 4 年目を迎え、少しずつ定着しつつある。小中一貫教育の郷土「なら」科の取り組みと、ESD アシストプロジェクトの理念は相通じるものがある。生徒はごく自然な気持ちより、震災の被災者について考え、戦争の悲惨さを感じ、奈良の世界遺産に誇りもち、地域の将来について考えられるようになってきたことは大きな成果である。また、今年度より地域との協力により防災についての取組が行われるようになった。

今後の課題としては、持続可能な環境開発のため何が出来るのかを考え、地域防災の主体者としてもいかに身近な実践を積み重ねていくのかを検討していかなければならない。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）